

【 第24回 世界学生選手権 】

2018年7月30日～5日

開催国：クロアチア・都市：リエカ

試合結果報告 8月4日（土）

JPN(日本)	VS	CRO(クロアチア)
14	前半	18
13	後半	10
	第一延長	
	第二延長	
27	合計	28

個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	中村 匠	-	-	-
2	田中 圭	0	0	0
3	田中 大介	0	1	1
4	水町 孝太郎	1	2	3
5	瀧澤 尚也	1	0	1
6	山口 勇樹	1	1	2
7	牧野 イサム	3	4	7
9	庄子 直志	0	1	1
10	川島 悠太郎	1	2	3
11	堀 広輝	3	0	3
12	岡本 大亮	-	-	-
13	小澤 基	0	0	0
14	後藤 悟	1	0	1
15	北詰 明未	3	2	5
	合計	14	13	27

戦評

決勝をかけた戦いはクロアチアとの1戦。日本の攻撃から始まり、北詰のミドルで先制、さらに川島のサイドで2連取する。対するクロアチアも2対2から発展性のある攻撃で得点を重ねていく。拮抗した展開は15分過ぎまで続くが、日本の退場をきっかけに4連取されてしまう。それでも、メンバー変更や7人攻撃で応戦し、20分過ぎには同点に追いつく。ここで流れをつかみたい日本だったが、相手のパワープレーによって再び退場者を出してしまい、再度4連取されてしまう。必死に食らい付くが、前半を14-18の4点ビハインドで折り返す。

強い気持ちを胸に挑んだ後半だったが、立て続けに2連取され、35分過ぎにはこの試合最大の6点差と突き放される。崩れかけた日本だったが、牧野、北詰を中心に選手一人ひとりが冷静に対応し、一気に5連取、後半10分には1点差まで追い詰める。その後点の取り合いとなり、互いに1つのミスも許されない緊迫した展開となる。完全アウェイの雰囲気の中、選手は感動的なプレーを最後の最後まで繰り広げるが残り20秒、不運にもクロアチアLWダボル・カバールのサイドが決まり27-28となる。すぐさま日本はチームタイムアウトを要求し、最後の攻撃確認を行う。残り4秒、北詰の放ったシュートは相手DFのブロックに阻まれ、試合終了となった。

悔しさが残る結果となったが、明日は銅メダルを賭けたポルトガルとの戦いがある。必ず勝利し、胸を張って日本に帰国する。

報告記入者：

豊田 賢治